

# 国立大学附属病院長会議将来像実現化 2015 年次報告 Annual Report

国立大学附属病院長会議 常置委員会  
将来像実現化WG 委員長  
名古屋大学医学部附属病院長  
石黒 直樹

## 〈これまでの経緯〉

平成24年3月 「国立大学附属病院の今後のあるべき姿を求めて～その課題と展望～」

平成24年6月 将来像実現化ワーキンググループ設置

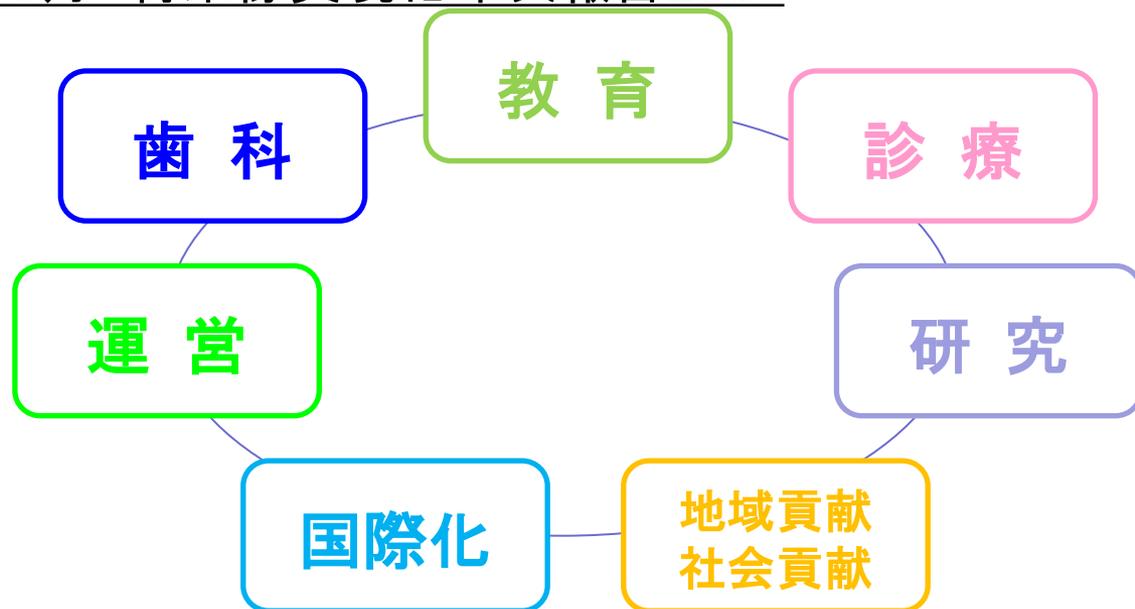
教育、診療、研究、地域貢献・社会貢献、国際化、運営、歯科の  
7分野のプロジェクトチームを設置

平成25年6月 将来像実現化行動計画2013策定

平成26年6月 将来像実現化年次報告2013／行動計画2014策定

平成27年6月 将来像実現化年次報告2014／行動計画2015策定

平成28年6月 将来像実現化年次報告2015



## 臨床実習の内容に関する評価とその質保証

- 国立大学医学部長会議との連携とPCC-OSCE(臨床実習終了時の共用試験)の全国実施とその充実

→ 医学部長会議の「教育制度・カリキュラムに関する小委員会」、「地域医療・医療人育成に関する小委員会」と病院長会議とによる「臨床教育合同会議」を設置し、連携する取り組みを実現。

## シミュレーションによる教育体制の整備

- 医療シミュレーションセンター活用による多職種教育の実践

→ 医師・看護師の卒前・卒後教育のみならず、薬剤師等の多職種教育や医療者の生涯教育、医療技能、医療安全教育の充実のため、県と連携して「臨床技術トレーニングセンター」を開設。(宮崎大学病院)

### 新たな指標を設定し、各大学のQIの公表及び有効活用を促進

#### ■ 新たな指標の設定

- 各大学のQIの活用状況について調査。
- 従来の指標である32項目については、設定当初とは提供される医療の質が向上し、より活性化。
- ただし、医療安全管理体制の構築などが社会的に強く求められていることから、現在、指標項目の見直しを行い、新たなQIの設定について検討中。

#### ■ 基盤部門の整備充実

#### ■ 相互チェック、相互訪問を継続するとともに、安全体制について一層の強化

- 医療安全相互チェック(2000年度～)の継続実施、医療事故制度ガイドライン(暫定版)の新規作成。
- 感染対策相互訪問(2000年度～)の継続実施、感染対策ガイドラインの改訂。
- 災害対策相互訪問(2013年度～)の継続実施。

### 臨床研究ネットワーク構築の全国展開

#### ■ 臨床研究推進会議等との連携とネットワークの構築

- 非臨床試験および医師主導治験の全国研究体制の構築例として「希少肺疾患研究の全国ネットワーク」を構築。  
(新潟大学医歯学総合病院)



### 臨床研究を支える人材育成と環境整備

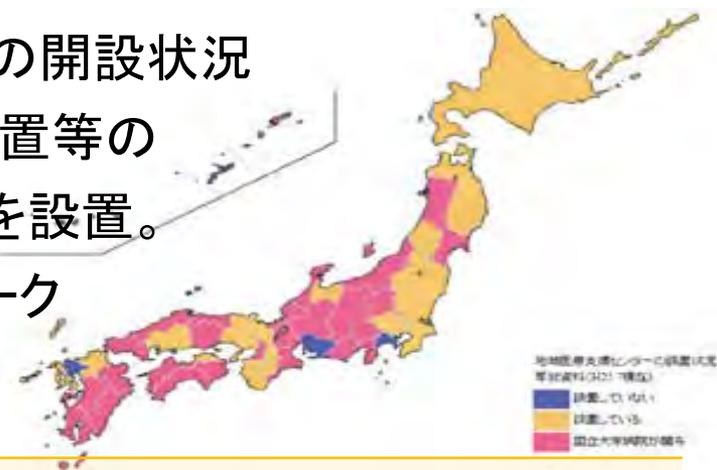
#### ■ 臨床研究を支える人材育成と臨床研究実施体制の整備

- 厚労省・アジア西太平洋地域倫理委員会フォーラム審査による臨床研究倫理委員会の認証取得(長崎大学病院)。
- 臨床研究マネージャー制度による研究実務者への教育と臨床研究の信頼性の向上(大阪大学医学部附属病院)。

## 地域支援にかかわる業務を統括する支援・調整部門の創設

### ■ 地域医療支援センターと国立大学病院の関わり及び医療行政との連携

- 各都道府県における地域医療支援センターの開設状況及び国立大学附属病院関係者からの人員配置等の状況を調査分析。24/42が大学内にセンターを設置。
- 医療行政と連携する院内組織間のネットワーク構築を目指したシンポジウムの開催。



## 災害支援医療ネットワークの構築

### ■ 地災害対応能力の向上

- 災害対策相互訪問事業(2013～)を継続実施。
- 災害時の国立大学附属病院間の協力関係を確認及び災害対策委員会等のコアメンバーを対象とする災害管理技能者(UDME)養成研修会を実施。

### 遠隔医療教育ネットワークを活用した医療プログラムの作成及び人事交流の国際的展開

#### ■ 国際遠隔医療教育ネットワークに関する技術担当者ワークショップ及び担当医師・技術担当者全国合同会議の開催

- ワークショップで得られた課題等について分析の上、国際的な遠隔医療ネットワークの構築及びICTを活用した人材育成を推進するために「遠隔医療テレカンファレンス技術マニュアル」を作成。
- 全国合同会議として、国際化推進の取組みに積極的な7大学より、内視鏡や新興国での健診活動、整形外科用医療機器・材料の寄附活動など、様々な分野の医療プログラムの紹介、パネルディスカッションと意見交換を実施。

#### ■ 各国立大学附属病院の現況調査

既存の「国際医療部門」(外国人患者に対応する独立部門)

【調査項目】 (平成27年12月調査)

- ・国際医療部門の設置状況・設置予定について
- ・これまでの活動状況について
- ・運営上の問題点とその対応策について
- ・来年度以降予定している新たな取組みについて
- ・医療通訳者の雇用状況について

#### ■ 国際医療部門連絡会議の創設

- 平成28年2月に第一回連絡会議を開催。

	名称 (設立年月日)	スタッフ数(専任、兼任)	対応言語
北海道大学	国際医療部 (設立: H25.7.1)	専任: 教員1 兼任: 教員2	英
東北大学	国際化推進室 (設立: H25.12.1)	専任: 0 兼任: 教員14、教員以外3	英
筑波大学	国際連携推進室 (設立: H24.10.1)	専任: 教員以外3 兼任: 教員1、教員以外2	英・露
千葉大学	国際医療センター (設立: H25.10.1)	専任: 0 兼任: 教員6、教員以外3	英・中・韓 (他言語は英語を介した対応)
慶応大学	国際診療部 (設立: H24.11)	専任: 教員1、教員以外1 兼任: 教員1	英
三重大学	国際医療支援センター (設立: H25.10.1)	専任: 0 兼任: 教員6	英・中・アラビア
大阪大学	国際医療センター (設立: H25.4.1)	専任: 教員2、教員以外5 兼任: 教員2	(常時) 英・中・ポルトガル・西 (要予約) 韓・タイ・アラビア・露ほか
九州大学	国際医療部 (設立: H27.4.1)	専任: 教員2、教員以外13 兼任: 教員1、教員以外2	英・中

### 中長期的視点に立った経営計画の策定及び情報共有化に向けた取組み

#### ■ 国立大学病院の経営状況分析能力の向上

- 国立大学病院データベースセンター「経営分析システムA#」による、経営分析に必要なベンチマーク等の有用なデータの供給を開始。
- 国立大学病院管理会計システム2 (HOMAS2) の平成28年度からの実稼働に向けた体制等を準備。

#### ■ 医療材料の共同交渉実施に向けた検討

- 国立大学病院全体で統一的に使用が可能な消耗品等の選定を行い、共同調達が可能であるかどうかの検討を進め、製品の選定に係る具体的な手法を協議・検討し対象製品を決定後、共同交渉を予定。

### 新たなキャリアパスに向けた取組み

#### ■ 病院事務職員の人事・労務上に係る諸課題への取組み

- 全国国立大学病院事務部長会議総務委員会の下に「人材像検討WG」を設置し、国立大学附属病院の事務職員像と育成方針等について検討中。

### 健康長寿社会を担う歯科医学教育改革の全国への展開を推進

#### ■ 歯学部・医学部学生に対するより実践的な卒前教育

- 全人的医療の提供ができる医療人の育成のための取組み
- 診療参加・実践型臨床実習の立案とブラッシュアップ

#### ■ 実践的な卒前臨床教育の実施と高い専門的技術能力を持つ 総合歯科医の養成

- より実践的な臨床教育を目指したICT化の推進
- 臨床研修歯科医の教育における地域歯科医療との連携

等々

## 最後に・・・

これまでは、平成24年3月に取りまとめた「国立大学附属病院の今後のあるべき姿を求めて」の提言に基づき、毎年「行動計画」とその計画に基づく活動状況を「年度報告」として取りまとめ、PDCAサイクルを廻しながら、将来像の具現化を図ってまいりました。

今回、提言策定後の社会情勢の変化、時代のニーズ等を考慮し「グランドデザイン2016」として見直しております。

今後はその提言に基づき「行動計画」を策定し、「地域高度医療の最後の砦」を担う国立大学附属病院として、活動してまいりますので、一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。